

なつやすみの宿題を 一緒に考えてみませんか



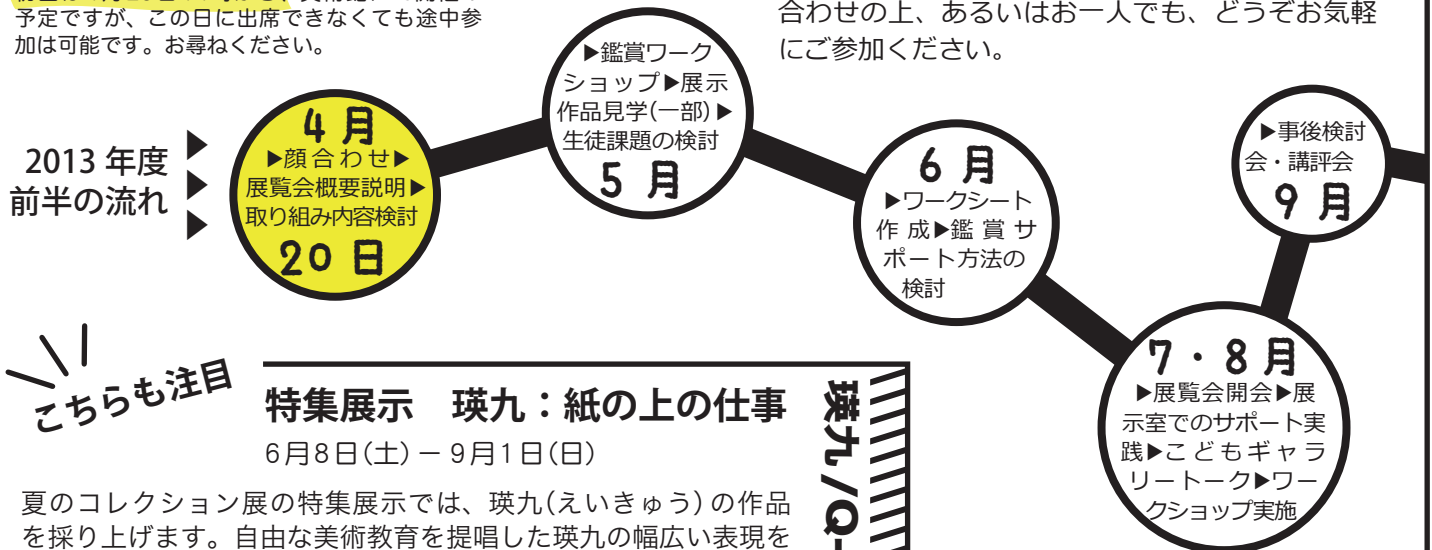
2012年度「なつやすみの美術館2：かたちと色のABC」展の様子

次は「美術の時間」です。

なつやすみの美術館3「美術の時間」
 7月6日(土) - 8月25日(日)

過去2回続けてきた「なつやすみの美術館」シリーズ。多くの学校で夏休みの課題としてくださっており、展示室は生徒たちで賑わっています。2013年のテーマは、タイトル通り「時間」がテーマ。ストップモーションとしての絵画表現や動く作品など、美術作品の中にさまざまな時間表現を探します。この展示会をテーマに、他校の先生や教員を目指す学生、当館職員と一緒に、和歌山美術館教育研究会で宿題作りをしませんか？お誘い合わせの上、あるいはお一人でも、どうぞお気軽にご参加ください。

初回は4月20日14時から、美術館にて開催の予定ですが、この日に出席できなくても途中参加は可能です。お尋ねください。



こちらも注目

特集展示 瑛九：紙の上の仕事

6月8日(土) - 9月1日(日)

夏のコレクション展の特集展示では、瑛九(えいきゅう)の作品を採り上げます。自由な美術教育を提唱した瑛九の幅広い表現をヒントにして、実技制作と関連させた課題設定も出来そうです。

瑛九/Q-EI

リヤカー+カメラ = **リヤカーメラ**

附属中による美術館周辺を使ったインスタレーションの取り組み(飯村先生指導)を、23年度はNPOのwacss(ワークス)と協同して行いました。東京藝術大学の佐藤時啓先生の作品《リヤカーメラ》を生徒たちは体験し、自分たちの作品制作へとつなげました。《リヤカーメラ》は、中に入れる移動式のピンホールカメラで、現在美術館にて保管中です。この夏の「美術の時間」展でも、体験できる機会を設ける予定です。



▲潜水艦のような《リヤカーメラ》。中には、生徒たちが乗っています！

「美術の時間」にも
登場予定！

和歌山美術館教育研究会 は、美術館を活用した教育を実践するための集まりです。近代美術館を拠点に、学校や科目の枠を越えた先生方の交流の場となり、また教員を目指す学生が先輩の先生方から現場を学べる貴重な機会でもあります。これまで、ほぼ2ヶ月に1回のペースで会合を重ね、以下のような内容で活動してきました。



教育実習生たちによる課題検討の様子

- ・開催中の展覧会と一緒に鑑賞
- ・各学校で取り組まれている授業内容の紹介
- ・展覧会を題材とした教育実習生の課題検討
- ・美術教育関連の書籍やウェブサイトの紹介
- ・他府県での取り組み紹介



先生方による授業内容の紹介

今年はさらに、「なつやすみの美術館」展に向けて、活発な取り組みをする計画です。具体的には、

- ・各校共通で使える年代別ワークシートの作成
- ・夏期休暇中の来館課題の検討
- ・生徒たちの鑑賞を展示室でサポートする大学生スタッフの育成

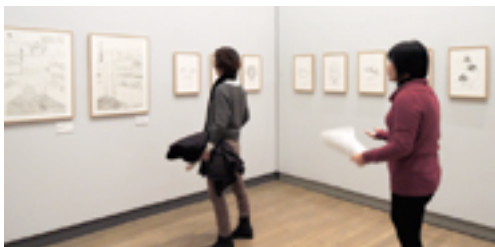
などを、和歌山大学とも連携して行ってゆきます。

現在、夏休み中の展覧会を宿題としてくださっている学校の多くは中学校ですが、小学校や高校の先生のご参加もお待ちしています。ベテランの先生も、まだまだ若手の先生も、そして未来の先生も、学校教育の中で美術館をどのように使うことができるか、一緒に考えてみませんか。この夏、美術館で、子どもたちや未来の教員となる大学生たちが、たくさんの「！」を見つけられるよう、お力をお貸し下さい。

※ご案内や内容は、主にメーリングリストを通してお伝えします。どうぞご参加ください。(登録には認証が必要ですので、メールか電話で当館教育普及課にご連絡いただくか、以下のページから直接申請ください)

【登録申請ページ <http://goo.gl/U5zEj>】

前回の研究会は ←



「謄写版の冒険」展を鑑賞

第17回の研究会は2月9日(土) 14:00から、この日オープンの展覧会「謄写版の冒険」展をまずは鑑賞し、その後、このニュースレター発行の案内や、年度替わりに向かっての各校の課題などについて意見交換を行いました。特に、次の夏休みに取り組みたい新たな連携について、当館から先生方に相談しました。

→ 次回の研究会は4月20日(土)

新年度最初の研究会となる第18回は、4月20日(土) 14:00から開始の予定です。また「日本の絵画の50年」展オープンの日ですので、まずは展示を鑑賞したいと思います。夏に向けて一緒に活動する和歌山大学教育学部の学生も参加予定ですので、はじめての先生方もぜひお越しください。

※この日に出席できなくても、年度途中からの参加は可能ですので、どうぞご連絡ください。

2013年度展覧会 SCHEDULE

